



令和元年度 学校だより

伏見板橋 前期

学校評価号

令和元年11月1日
京都市立伏見板橋小学校
校長 藤田 路乃
TEL 075-611-5158
FAX 075-611-5290
mail : itahashi-s@edu.city.kyoto.jp



「よりよい学校をつくるための学校評価」を行いました。お忙しい中、保護者・地域の皆様にはご協力いただき、感謝申し上げます。

保護者・地域の皆様のアンケート項目をできる限り合わせ、同じ内容について、それぞれの立場からのご意見を集約することができました。この結果を教職員一同で共通理解し、よりよい学校づくりのために改善を図っていきたいと思います。

	「学校教育目標」					よく出来ている					大体出来ている					あまり出来ていない					出来ていない					
	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	
1	学校教育目標『夢をもち、自らの未来を創る 子どもの育成～自分の思いや考えを いきいきと表現し 実行できる子～』	42%	42%	20%	22%	47%	31%	39%	54%	33%	53%	13%	14%	20%	22%	0%	14%	5%	6%	22%	0%					
2	学校は、この目標の広報を十分にしていますか。	47%	43%	14%	0%	0%	28%	41%	61%	67%	88%	15%	13%	23%	33%	12%	11%	2%	3%	0%	0%					
3	子どもたちは、進んで家庭学習に取り組んでいますか。	65%	46%	26%	13%	15%	26%	33%	52%	88%	76%	7%	17%	20%	0%	10%	1%	4%	3%	0%	0%					
4	学校は、家庭学習の大切さについて保護者や子どもたちに説明していますか。	68%	45%	23%	0%	19%	20%	36%	61%	100%	72%	10%	15%	15%	0%	9%	3%	4%	1%	0%	0%					
5	子どもたちは、読書をよくしていると思いますか。	68%	60%	25%	25%	19%	21%	24%	38%	50%	62%	5%	12%	30%	25%	19%	6%	3%	6%	0%	0%					
6	学校は読書活動の取組を推進していると思いますか。	64%	64%	27%	38%	29%	23%	27%	59%	63%	63%	8%	8%	13%	0%	7%	5%	1%	1%	0%	0%					
7	子どもたちは、本や人に聞いたり、インターネットで調べたりして調べ学習をしていますか。	64%	50%	19%	25%	5%	23%	31%	56%	75%	62%	8%	15%	21%	0%	33%	5%	4%	4%	0%	0%					
8	学校や地域は子どもたちが調べ学習をする環境が整っていますか。	60%	54%	20%	11%	5%	28%	35%	64%	89%	81%	7%	10%	15%	0%	14%	5%	1%	1%	0%	0%					
9	子どもたちは学校で習っていることが理解できていますか。	71%	64%	23%	0%	2%	25%	32%	65%	100%	93%	3%	3%	11%	0%	5%	1%	1%	2%	0%	0%					
10	学校は、子どもたちが学習を理解できるように取組を進めていますか。	67%	49%	24%	22%	16%	28%	37%	68%	78%	84%	4%	12%	7%	0%	0%	1%	3%	1%	0%	0%					
11	子どもたちは、家庭で友達のことをよく話しますか。	64%	57%	29%	25%	21%	22%	29%	50%	63%	74%	10%	10%	19%	13%	5%	4%	4%	3%	0%	0%					
12	子どもたちの友達関係は良好ですか。	81%	76%	33%	22%	7%	15%	22%	61%	67%	93%	3%	2%	5%	11%	0%	1%	0%	1%	0%	0%					
13	友達を思いやる心や大切にする態度は見られますか。	64%	53%	34%	33%	21%	30%	41%	59%	44%	74%	5%	5%	6%	22%	5%	1%	1%	1%	0%	0%					
14	高齢者や困っている人を見かけると、声かけや何らかの手助けをしようと思いますか。	42%	24%	14%	0%	16%	40%	37%	39%	38%	68%	11%	29%	39%	63%	16%	8%	10%	8%	0%	0%					
15	心優しい子に育てるために、各家庭では声かけや話などをされていますか。	54%	41%	22%	0%		30%	35%	66%	86%		12%	14%	12%	14%		4%	9%	1%	0%	0%					
16	学校は心優しい子を育てるために、取組を進めていますか。	66%	61%	19%	0%	40%	21%	29%	68%	88%	60%	10%	8%	12%	13%	0%	3%	2%	1%	0%	0%					
17	子どもたちは、朝ごはんをしっかり食べていますか。	81%	77%	62%	25%	45%	16%	19%	32%	50%	40%	3%	3%	5%	25%	15%	1%	1%	1%	0%	0%					
18	子どもたちに早寝・早起きの習慣はついていますか。	51%	33%	35%	38%	19%	33%	35%	39%	38%	57%	15%	25%	21%	25%	24%	1%	6%	4%	0%	0%					
19	学校の体育以外で運動をしていますか。（部活・地域スポーツなど）	77%	73%		13%		16%	16%		63%		4%	8%		25%		3%	4%	0%							
20	防災・防犯・交通安全等についてご家庭で決まりがあったり、実際に訓練的なことをしたりされてますか。	34%	21%	12%	22%		29%	33%	45%	44%		19%	28%	39%	22%		18%	17%	4%	11%						
21	子どもたちは安全に注意し、健康に育つように、家庭で具体的な取組をされていますか。				17%	22%			63%	56%				19%	22%				2%	0%						
22	学校は、健康教育や安全教育、防犯教育を進めていると思いますか。	82%	73%	27%	33%	40%	15%	24%	66%	56%	60%	3%	3%	6%	11%	0%	0%	0%	1%	0%	0%					
23	学校は、健康や安全、防犯について説明をしていますか。	74%	75%				19%	19%				5%	4%				2%	3%								

学習面について

○『子どもたちは進んで家庭学習に取り組んでいるか』について、「よく出来ている」「大体出来ている」の項目を合わせると低学年91%、高学年79%と比較的高く、保護者・地域の方も「よく出来ている」までいかないが、「大体出来ている」まで含むと概ね高い数値になっています。ただ、低学年で約10%、高学年で約20%の児童が取り組めていないという認識であることを今後の課題とし、学習の必要性や取り組み方を今後身に付けていく学びを大事にしていきたい。

○『子どもたちは読書をよくしているか』について、大きな傾向は昨年度と変わらなかったが、低学年と高学年の差が縮まり児童全体に読書の意識が高まっていることが言える。要因としては昨年度より取り組んでいる小中の校種間連携の一つとして、小中一貫9年間の学びの連続性を考えた学校図書館を活用した授業展開の研究を行っていることが考えられる。その成果の一つとして捉えていきたい。

○9・10の『学習理解』に関する項目で、高学年が「よく出来ている」「大体出来ている」の項目を合わせると10%もの差がある。96%の子が学習内容自体の理解は出来ているが、学校の取組に置き換えると10%下がってしまっている事実を真摯に受け止め、児童が分かる授業を展開できるように授業改善をひき続き進めて行きたい。

生活面について

○『友達関係』については、「よく出来ている」「大体出来ている」の項目を合わせると、児童・保護者・地域・教職員すべてが96%以上になっており良好だと考えられます。しかし、『家庭で友だちの事をよく話しますか』の項目では、児童と保護者の認識が少し差が見られました。高学年になるとつれて、日常生活の忙しさも進んでくるかと思いますが、親子で話せる機会を意図的につくっていただくことを検討していただくこともいいかもしれません。

○『高齢者や困っている人を見かけると、声かけや何らかの手助けをしようと思いますか。』では「よく出来ている」「大体できている」を合わせると、低学年61%と高学年79%と比べると低学年は2%上がったものの、高学年は7%下回る結果となりました。また、保護者の評価は53%となり子どもたちの課題が明らかになりました。相手が困っているときに、どうすればよいのか子どもたちの行動をよく観察し、学校生活の中で子どもに寄り添い、具体的に学んでいく必要性を強く感じました。昨年度より道徳が教科化となりました。ただ教科の一つという捉えだけではなく、いろいろな場面を想定し、学校教育全てにおいて、道徳教育を進めていきたいと思います。

健康面について

○『朝ごはんをしっかり食べていますか。』の項目が、児童・保護者と94~97%との評価で100%では無いところが気になります。1日の学校生活を元気に過ごすためにも、朝食はきちんととるようにしましょう。

○『早寝・早起きの習慣』については、「よく出来ている」が低学年51%、高学年は33%でした。「大体出来ている」は低学年33%、高学年35%で、合わせると低学年は80%越えますが、高学年は70%を下回るという結果になりました。保護者・地域・教職員とも数値が低いです。ここが今の本校の大きな課題のように思えます。生活点検期間だけではなく、地域・保護者・学校がより連携して子どもたちに早寝・早起き・朝ごはんの重要性を啓発していく必要があります。

○『学校は、健康教育や安全教育、防犯教育を進めていると思いますか。』については、「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせると、児童・保護者・教職員ともに9割を超みました。近年特に自然災害等が多いです。家庭においても、きまりをつくり、訓練等をしている家庭が多いようです。常に自分事として、防災や防犯面について、今後も家庭で話し合いの機会をもつていただき、防災訓練に参加される等よろしくお願いいたします。